

# 三菱 P62 (CMP10062) レッドダイヤモンド

エクプリスクロス(2018年3月発売)の新色として設定した塗色です。非常に特殊な塗色であり、自動車補修においては超難易度の高い塗色であることから、標準的な補修アドバイスを記載いたしますので、ご参照下さい。

- ◆ 配合情報  
ベースカラー配合については、インターネット配合でご確認下さい。

## 【ブロック塗装編】

塗膜構成

トップコートクリアー	} 3コート仕様
カラークリアーベース	
カラーベース(金属調メタリック)	
(下地)中塗り	} 標準的な下地工程
(下地)下塗り	

下塗り/中塗りの塗装仕様はスイフト2Kベースコート、D-1ベースHS、VトップモナークExcellent共通です

工程	要領	ポイント										
1 下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 脱脂作業はAutoワックスクリナーECO<sup>※1</sup>を使用</li> <li>【調合】</li> <li>★ AutoD-NexTプライマー<sup>※2</sup> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-NexTプライマー主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoD-NexTプライマー硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO<sup>※3</sup></td> <td>10~20</td> </tr> </table> </li> </ul>	AutoD-NexTプライマー主剤	100	AutoD-NexTプライマー硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO <sup>※3</sup>	10~20	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ ダメージ部分の旧塗膜剥離および研磨</li> <li>★ 旧塗膜フェザー部作りと足付け研磨および脱脂処理。</li> <li>★ D-NexTプライマー塗布による金属面防錆下塗り処理(強制乾燥 60℃×10分程度)。プライマー面の平滑研磨と清掃および脱脂処理(プライマー工程は省略可)。</li> </ul>				
AutoD-NexTプライマー主剤	100											
AutoD-NexTプライマー硬化剤	25											
AutoウレタンシンナーECO <sup>※3</sup>	10~20											
2 中塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>【調合】</li> <li>★ AutoSPSライトパテ、ポリパテ<sup>※2</sup> <table border="1"> <tr> <td>AutoSPSポリパテ主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoパテ硬化剤 エロー</td> <td>2</td> </tr> </table> </li> <li>★ AutoD-NexTプラサフ<sup>※2</sup> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-NexTプラサフ主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO<sup>※3</sup></td> <td>10~20</td> </tr> </table> </li> </ul>	AutoSPSポリパテ主剤	100	Autoパテ硬化剤 エロー	2	AutoD-NexTプラサフ主剤	100	Autoウレタン硬化剤	20	AutoウレタンシンナーECO <sup>※3</sup>	10~20	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ ダメージ部が深い場合、SPSライトパテ、ポリパテを塗布し、パテ部分の平滑研磨と目馴染しを行う。</li> <li>★ 中塗り塗布前の旧塗膜足付け。</li> <li>★ D-NexTプラサフ塗布による中塗りを行う(強制乾燥 60℃×15分以上推奨)。</li> <li>★ D-NexTプラサフの平滑研磨と上塗り用足付け処理を行う(推奨はP800以上の空研ぎもしくは耐水ペーパーで研磨)。</li> </ul>
AutoSPSポリパテ主剤	100											
Autoパテ硬化剤 エロー	2											
AutoD-NexTプラサフ主剤	100											
Autoウレタン硬化剤	20											
AutoウレタンシンナーECO <sup>※3</sup>	10~20											

工程	要領	ポイント																		
3 カラーベース (メタリックベース①) 色決め (調色配合 参照)	<p>★ 脱脂作業はAutoワックスクリーナーECO<sup>※1</sup>を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー<sup>※2</sup></td> <td>20~40</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>20~40</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>20~40</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	10	Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	20~40	AutoD-1ベースHS	100	AutoHS硬化剤	10	AutoウレタンシンナーECO	20~40	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	20~40	<p>★ 塗装面の清掃と脱脂処理(エアブローしながらタッククロスでゴミ・ホコリを除去する)</p> <p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ 本塗色のD-1ベースHSのカラーベースには必ず、専用硬化剤を計量配合してから塗装を行う。</p> <p>★ メタリックベース①は色決め(隠蔽)です。</p> <p>★ 希釈を通常よりも少なくし、エア圧調整も高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎない様にして、出来るだけ塗面に平滑性が出るように隠蔽するまで塗装する。 スプレーガンの調整例:パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.2MPa(2.0kgf/cm<sup>2</sup>)を目安。</p> <p>★ その後一度、60°C×5~10 分程度の強制乾燥を行い、残っている溶剤を揮発させてから次の工程(メタリックベース②の輝度感調整)へ進めます。</p>
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	10																			
Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	20~40																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoHS硬化剤	10																			
AutoウレタンシンナーECO	20~40																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	25																			
AutoウレタンシンナーECO	20~40																			
4 カラーベース (メタリックベース②) 色決め (調色配合 参照)	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調 合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー<sup>※2</sup></td> <td>250~350</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調 合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>250~350</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調 合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>250~350</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調 合済み塗料	100	Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	250~350	AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調 合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	250~350	AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調 合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	250~350	<p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ メタリックベース②は輝度(正面の明るさ)調整です。</p> <p>★ 希釈はメタリックベース①よりもかなり多く希釈し、出来るだけ平滑性が出るように丁寧に仕上げる。 メタリックベース①同様に、エア圧調整は高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎないように、ミストコート(スプレーガンを早く動かし、細かい霧状にする)にして、塗りムラが出ないように、薄く薄く丁寧に塗り重ねる。 スプレーガンの調整例:パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.15MPa(1.5kgf/cm<sup>2</sup>)を目安。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</p>						
Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調 合済み塗料	100																			
Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	250~350																			
AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調 合済み塗料	100																			
AutoウレタンシンナーECO	250~350																			
AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調 合済み塗料	100																			
AutoウレタンシンナーECO	250~350																			

工程	要領	ポイント																														
5	<p>カラークリヤーベース</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート※4</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー※2</td> <td>50~70</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS※4</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>CC1 配合量に対し 4:1</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>50~70</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent※4</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>50~70</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1	Autoウレタンシンナー※2	50~70	AutoD-1ベースHS	100	Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1	AutoウレタンシンナーECO	50~70	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	50~70	<p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ 各カラークリヤーへの硬化剤配合量は、マルチカラークリヤー CC1 キャンディーカラー用の4:1と、各塗料の指定硬化剤量を計量、混合してから塗装する。</p> <p>★ スプレーガンのパターン重ねを広く取り、塗りムラが出ないように丁寧な塗装で仕上げる(艶をあまり出さないように仕上げる)。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</p>												
Autoスイフト2K ベースコート	100																															
Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1																															
Autoウレタンシンナー※2	50~70																															
AutoD-1ベースHS	100																															
Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1																															
AutoウレタンシンナーECO	50~70																															
AutoVトップモナークExcellent	100																															
Autoウレタン硬化剤	25																															
AutoウレタンシンナーECO	50~70																															
5	<p>トップコートクリヤー</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoプレインクリヤー MX(4:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー MX</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>0~30</td> </tr> </table> <p>★ Autoプレインクリヤー EX(3:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー EX</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>10~30</td> </tr> </table> <p>★ Autoプレインクリヤー LG(4:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー LG</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>10~30</td> </tr> </table> <p>★ Autoプレインクリヤー SF(5:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー SF</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>10~30</td> </tr> </table> <p>★ Autoプレインクリヤー JT(10:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー JT</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>10~30</td> </tr> </table>	Autoプレインクリヤー MX	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	0~30	Autoプレインクリヤー EX	100	Autoウレタン硬化剤	33	AutoウレタンシンナーECO	10~30	Autoプレインクリヤー LG	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	10~30	Autoプレインクリヤー SF	100	Autoウレタン硬化剤	20	AutoウレタンシンナーECO	10~30	Autoプレインクリヤー JT	100	AutoHS硬化剤	10	AutoウレタンシンナーECO	10~30	<p>★ 各調合クリヤーは、一度に厚塗りをせず、塗面を荒らさない様に確認しながら、均一で丁寧な塗装を行う。</p> <p>★ 各クリヤーでの毎回のインターバルでは、指触乾燥を確認し、2回目で肉付け、3回目で肌調整および仕上げを行う様に塗り重ねる。</p> <p>★ その他、DNT自動車補修用の上塗りクリヤーが使用可能です(塗装条件は各クリヤーの仕様に準ずる)。</p>
Autoプレインクリヤー MX	100																															
Autoウレタン硬化剤	25																															
AutoウレタンシンナーECO	0~30																															
Autoプレインクリヤー EX	100																															
Autoウレタン硬化剤	33																															
AutoウレタンシンナーECO	10~30																															
Autoプレインクリヤー LG	100																															
Autoウレタン硬化剤	25																															
AutoウレタンシンナーECO	10~30																															
Autoプレインクリヤー SF	100																															
Autoウレタン硬化剤	20																															
AutoウレタンシンナーECO	10~30																															
Autoプレインクリヤー JT	100																															
AutoHS硬化剤	10																															
AutoウレタンシンナーECO	10~30																															

※1... Autoワックスクリナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※2... 別紙カタログをご参照下さい。

※3... Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※4... 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。

※5... 別紙カタログをご参照下さい。

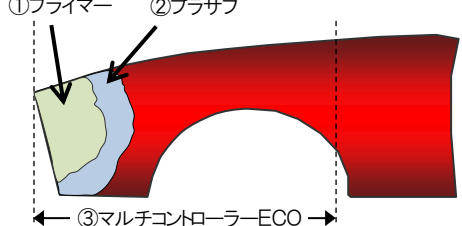
※6... 別紙カタログをご参照下さい。

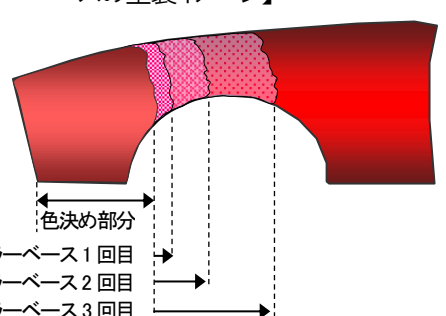
## 【ボカシ塗装編】

### 塗膜構成

トップコートクリアー	} ボカシ用工程
カラークリアーベース	
カラーベース(金属調メタリック)	
アンダークリアーベース	} 標準的な下地工程
(下地)中塗り	
(下地)下塗り	

下塗り/中塗りの塗装仕様はスイフト2Kベースコート、D-1ベースHS、VトップモナークExcellent共通です

工程	要領	ポイント																		
1	下塗り	ブロック塗装を参照																		
2	中塗り	ブロック塗装を参照																		
3	カラーベースの ミスト馴染み 前処理	<p>★ 脱脂処理の拭取りが不十分な場合、カラーベース塗装時に吹き跡が出る場合がある。</p> <p>★ カラーベースのミスト馴染み性を上げるため、必ずマルチコントローラーECOをトップコートクリアーのボカシ際の手前まで塗布する(トップコートクリアーを全面塗装する場合は、マルチコントローラーECOを全面塗装可)。</p> <p>【マルチコントローラーECOまでの塗装イメージ】</p> <p>①プライマー ②プラサフ</p>  <p>← ③マルチコントローラーECO →</p>																		
4	カラーベース (メタリックベース①) 色決め	<p>★ 脱脂作業はAutoワックスクリーナーECO<sup>※1</sup>を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー<sup>※2</sup></td> <td>20~40</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>20~40</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>20~40</td> </tr> </table> <p>★ 塗装面の清掃と脱脂処理(エアブローしながらタッククロスでゴミ・ホコリを除去する)</p> <p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ 本塗色のD-1ベースHSのカラーベースには必ず、専用硬化剤を計量配合してから塗装を行う。</p> <p>★ メタリックベース①は色決め(隠蔽)です。</p> <p>★ 希釈を通常よりも少なくし、エア圧調整も高くなり過ぎず、吐出量も出し過ぎないように、出来るだけ塗面に平滑性が出るように隠蔽するまで塗装する。</p> <p>★ スプレーガンの調整例: パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.2MPa(2.0kgf/cm<sup>2</sup>)を目安。</p> <p>★ その後一度、60℃×5~10 分程度の強制乾燥を行い、残っている溶剤を揮発させてから次の工程(メタリックベース②の輝度感調整)へ進めます。</p>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	10	Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	20~40	AutoD-1ベースHS	100	AutoHS硬化剤	10	AutoウレタンシンナーECO	20~40	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	20~40
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	10																			
Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	20~40																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoHS硬化剤	10																			
AutoウレタンシンナーECO	20~40																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	25																			
AutoウレタンシンナーECO	20~40																			

工程	要領	ポイント												
5	<p>★ 脱脂作業はAutoワックスクリーナーECO<sup>※1</sup>を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した 調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー<sup>※2</sup></td> <td>70~90</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した 調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>70~90</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した 調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>70~90</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した 調合済み塗料	100	Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	70~90	AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した 調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	70~90	AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した 調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	70~90	<p>★ メタリックベース②はボカシ際の色決めです。</p> <p>★ メタリックベース①同様に、エア圧調整は高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎないように、ミストコート(スプレーガンを早く動かし、細かい霧状にする)にして、塗りムラが出ないように、薄く丁寧に塗り重ねる。</p> <p>★ スプレーガンの調整例:パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.15MPa(1.5kgf/cm<sup>2</sup>)を目安。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</p> <p>【カラーベースの塗装イメージ】</p>  <p>色決め部分 カラーベース1回目 カラーベース2回目 カラーベース3回目</p>
Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した 調合済み塗料	100													
Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	70~90													
AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した 調合済み塗料	100													
AutoウレタンシンナーECO	70~90													
AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した 調合済み塗料	100													
AutoウレタンシンナーECO	70~90													
6	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース②で使用した 調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー<sup>※2</sup></td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS メタリックベース②で使用した 調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent<sup>※4</sup></p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent メタリックベース③で使用した 調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>200~300</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース②で使用した 調合済み塗料	100	Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	200~300	AutoD-1ベースHS メタリックベース②で使用した 調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	200~300	AutoVトップモナークExcellent メタリックベース③で使用した 調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	200~300	<p>★ メタリックベース③は全体の輝度(正面の明るさ)調整です。</p> <p>★ 希釈はメタリックベース②よりもかなり多く希釈し、出来るだけ平滑性が出るように丁寧に仕上げる。</p> <p>★ メタリックベース①②同様に、エア圧調整は高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎないように、ミストコート(スプレーガンを早く動かし、細かい霧状にする)にして、塗りムラが出ないように、薄く丁寧に塗り重ねる。</p> <p>★ スプレーガンの調整例:パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.15MPa(1.5kgf/cm<sup>2</sup>)を目安。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</p>
Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース②で使用した 調合済み塗料	100													
Autoウレタンシンナー <sup>※2</sup>	200~300													
AutoD-1ベースHS メタリックベース②で使用した 調合済み塗料	100													
AutoウレタンシンナーECO	200~300													
AutoVトップモナークExcellent メタリックベース③で使用した 調合済み塗料	100													
AutoウレタンシンナーECO	200~300													



工程		要領	ポイント						
7	カラークリヤー ベース	<b>【調合】</b> <b>★ Autoスイフト2K ベースコート※4</b> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー※2</td> <td>80~100</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1	Autoウレタンシンナー※2	80~100	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</li> <li>★ 各カラークリヤーへの硬化剤配合量は、マルチカラークリヤー CC1 キャンディーカラー用の4:1と、各塗料の指定硬化剤量を計量、混合してから塗装する。</li> <li>★ スプレーガンのパターン重ねを広く取り、塗りムラが出ないように丁寧な塗装で仕上げる(艶をあまり出さないように仕上げる)。</li> <li>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</li> </ul>
		Autoスイフト2K ベースコート	100						
		Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1						
		Autoウレタンシンナー※2	80~100						
		<b>★ AutoD-1ベースHS※4</b> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>CC1 配合量に対し 4:1</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>80~100</td> </tr> </table>	AutoD-1ベースHS	100	Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1	AutoウレタンシンナーECO	80~100	
		AutoD-1ベースHS	100						
		Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1						
		AutoウレタンシンナーECO	80~100						
		<b>★ AutoVトップモナークExcellent※4</b> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>80~100</td> </tr> </table>	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	80~100	
		AutoVトップモナークExcellent	100						
Autoウレタン硬化剤	25								
AutoウレタンシンナーECO	80~100								
※1… Autoワックスクリーナー(非環境対応品)でも代用可能です。 ※2… 別紙カタログをご参照下さい。 ※3… Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。 ※4… 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。 ※5… 別紙カタログをご参照下さい。 ※6… 別紙カタログをご参照下さい。									
8	トップコート クリヤー	ブロック塗装を参照	ブロック塗装を参照						

- ※1… Autoワックスクリーナー(非環境対応品)でも代用可能です。  
 ※2… 別紙カタログをご参照下さい。  
 ※3… Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。  
 ※4… 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。  
 ※5… 別紙カタログをご参照下さい。  
 ※6… 別紙カタログをご参照下さい。